

JAXA の高橋が参考 10-2(センサの異分野展開)を 13 分弱で説明した後、短い質疑応答があった。(ASTRO-H を通じて得られた先端技術を医療、創薬、生命、環境、新素材の各分野に展開しようとするもの。スピンオフを狙ってプロジェクトの様な取組をしたのではなく、学会などの場での出会いから、たがいに共感して始められたものである。)(定例会議で説明した資料を其の儘使った。)

野本:私は一寸、先週これを聞いて居なかったんですけども、先程の広報の問題とも関わって来ると思うんですが、結局年齢層は兎も角として、子供から大人迄科学のワクワク感で云うのを伝えるって云う事が一番大事だと思うんですネ。で、特に此のシンオフウ(?)に当たる斯う云うものって云うのも、非常に科学って云うのは斯う云うのに役に立って来るとかかって云う、自分の身に引き付けて考える良いアレだと思います。ただ、問題なのは何処まで届くかって云う事だと思うんですネ。此れ非常に、高橋さんの多分お顔で此れだけ広がったんだと思うんですけれども、所詮一人では其れ以上広がらないって言うか。ですから如何に斯う云う事をやってますよと云う事を多くの人に知って貰うか、ですから広報と言っても子供から大人迄、それから色々な業種の方迄あると思うんですが、其れに対応した広報を考えないと、結局何処にも伝わらないって言うか、狭い範囲に伝わただけで終わってしまうと思うんですネ。ですから斯う云う技術も使って貰ってナンボのものだと思ってる、其れを

どうやって異業種の方に興味を持って貰えるかって云う広報も大事だし、それから斯う云う事が実際に有るんだよと云う事を一般の人に知って頂くって云う事も大事だし、子供に斯う云うのが有るんだよ、君達も次やらないって云う風な広報も大事だと思う。其の色々な広報が有ると思うので、まああの、非常にお忙しいとは思いますが、そう云うのも JAXA の広報とか色々な方と協力して、色々な広報を考えて、やって頂きたいナと思います。

JAXA 高橋:仰る通りです。JAXA の広報とか、NASDA さん(?)の広報は、数年前に比べて随分強化されてますので、是非そう云う方向で。実際は此れは、此の様な展開をやってらどうだと云うのは、宇宙研の広報って云うか対外協力室的川先生が、「此れは凄く面白いので、斯う云う感じで是非出して行くべきだ。」と云うサジェッションがありますから、少しゆっくりではありますけれど、其の方向に進んでいると思いますし、是非もっと進めたいと思って居ります。

青江部会長:はい、どうも。ええと、宜しゅう御座いますか。はい、それでは時間がフルになってしまいましたけど、有難う御座いました。